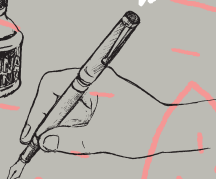


「丸善」創業150周年記念連続講演会

1869年に早矢仕有為が創業した「丸善」は、おかげさまで、2019年1月に150周年を迎えました。これを記念し、このたび、丸善雄松堂は、これまで支えてくださった皆さまへの感謝の気持ちを込め、全11回の連続講演会を開催いたします。当講演会では、「人はなぜ、まなぶのか」をテーマとし、様々な分野の研究のトップランナーを講師にお招きして、人生100年時代を生きるまなびについてご講演いただきます。いつの時代も「知」に寄り添い、人の心と、その道程の先に知を鑿すことをミッションとする当社がお届けする、「11のまなび」をご堪能ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



知を鑿す
11のまなび



2019年10/14 (祝)

14:00~15:30

13:30 開場予定

定員 100名 参加無料

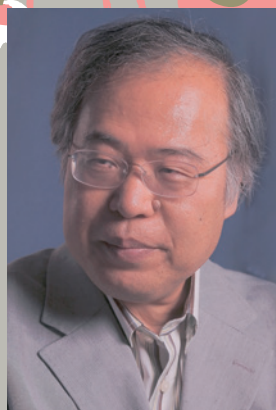
丸善丸の内本店 3F 日経セミナールーム

10/1 (火) 12:00 申込受付開始

荒俣流愛書のススめ！ ～古書の魅力と収集の愉しみ～

〈主催より〉常人には考えられない書物愛に満ちた、稀代のビブリオマニア（愛書狂）荒俣宏。小説家デビュー以前には、書物購入のため食費をぎりぎりまで削り、10年間同じスーツ1着で出勤したサラリーマン時代があったという。作家となった後も、図鑑出版のため巨額の借金をし美しい挿絵の入った原著を買い求める一など、逸話には事欠かない。今回はそんな荒俣氏に、これまでの愛書人生を振り返って頂きながら、書物の持つ魅力、そしていかに古書を手に入れ愉しむのかを存分にご披露いただきます。

講師：荒俣 宏氏
(作家・博物学者)



慶應義塾大学法学部卒業。コンピューター・プログラマーとして10年間のサラリーマン生活を送った後、独立。作家、翻訳家、博物学研究、TVタレントとして多方面で活躍。その著書・訳書は300冊に及び、代表作に『帝都物語』（角川書店）、『世界大博物図鑑』（平凡社）などがある。古今東西の貴重な古書を収集所蔵する愛書家として有名。

「丸善」創業 150 周年記念連続講演会

入場無料

知を^{しも}燈す
11のまなび




特設サイトにて最新情報を公開中!

講演会お申し込みもこちらから
<http://150th.maruzen.co.jp/manabi11/>
お申し込みの受付は先着順となります。



7 10/14 祝
14:00~15:30
丸善丸の内本店 3F
日経セミナールーム
定員: 100名
参加費: 無料

荒俣流愛書のススメ!
~古書の魅力と収集の楽しみ~



荒俣 宏氏
(作家・博物学者)

慶應義塾大学法学部卒業。コンピューター・プログラマーとして10年間のサラリーマン生活を送った後、独立。作家、翻訳家、博物学研究、TV タレントとして多方面で活躍。その著書・訳書は300冊に及び、代表作に『帝都物語』(角川書店)、『世界大博物図鑑』(平凡社)などがある。古今東西の貴重な古書を収集所蔵する愛書家として有名。

8 11/22 金
18:30~20:30
日比谷図書文化館 大ホール
定員: 200名
参加費: 無料

身体多様性の時代



伊藤 亜紗氏
(東京工業大学リベラルアーツセンター准教授)

専門は美学、現代アート。もともと生物学者を目指していたが、大学3年次より「文転」。東京大学大学院人文社会科学系研究科美学芸術学専門分野博士課程修了(文学博士)。研究のかたわらアート作品の制作にもたずさわる。主な著作に『目の見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社)、『どもる体』(医学書院)など。

9 12/25 水
18:30~20:30
日比谷図書文化館 大ホール
定員: 200名
参加費: 無料

「学魔」高山宏が語る
漱石『夢十夜』を十一夜に



高山 宏氏
(大妻女子大学名誉教授・副学長)

専門は17世紀綺想派詩人とマニエリスム演劇。文学のみならず、美術、建築、文化史、思想史、哲学、デザイン、大衆文学、映画、江戸文化、コミック他諸々の学問領域を「横断」した各種論文、エッセイを執筆。異端の人文学者、学魔とも称される。主なる著書に『目の中の劇場』(青土社)など。訳書に、L・キャロル『鏡の国のアリス』他、多数。

2020.
10 1/29 水
18:30~20:30
日比谷図書文化館 大ホール
定員: 200名
参加費: 無料

小説とは何か? (仮)



磯崎 憲一郎氏
(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院環境・社会理工学大学院社会・人間科学系教授、小説家(第141回芥川賞受賞))

40歳を前に小説を書き始め、三井物産勤務の傍らで2007年『肝心の子供』で第44回文藝賞受賞。2008年『眼と太陽』(第139回芥川賞候補)などを経て、2009年『終の住処』で第141回芥川賞受賞。2011年『赤の他人の瓜二つ』でドゥマゴ文学賞受賞。2013年『往古来今』で泉鏡花文学賞受賞。2015年9月、三井物産を退社。2018年より自身が受賞・デビューした文藝賞の選考委員を務める。

11
日時・会場: 未定

松岡 正剛氏 (予定)
(編集工学者、編集工学研究所所長、インス編集学校校長)

2
言語教育と文学の現在 (いま)
[5/17 (金) 開催終了]
紅野 謙介氏 (日本大学文理学部教授・学部長)

3
強いAI、弱いAI [6/27 (木) 開催終了]
鳥海 不二夫氏 (東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻准教授)

4
宇宙はいかに誕生したのか?
~物理学と天文観測によって描く創世記 [7/17 (水) 開催終了]
佐藤 勝彦氏 (日本学術振興会学術システム研究センター所長)

5
知の再武装の時代に向けて [8/8 (木) 開催終了]
寺島 実郎氏 ((財)日本総合研究所会長、多摩大学学長、一般社団法人寺島文庫 代表理事)

6
正倉院宝物と聖語蔵経巻の魅力/
天平写経と一切経—その魅力に迫る— [9/13 (金)]
飯田 剛彦氏 (宮内庁正倉院事務所保存課長、奈良女子大学大学院客員教授) / 落合 俊典氏 (国際仏教学大学院大学理事長、日本古写経研究所所長)

これまでのまなび

1
ヒトはなぜ文明を築けるのか?
ヒトの進化史とその未来 [4/25 (木) 開催終了]
長谷川 眞理子氏 (総合研究大学院大学学長)

関連企画



西洋の名著との 出会い

MARUZEN
150TH
ANNIVERSARY
EXHIBITION

「丸善」創業150周年記念稀観書展

丸善雄松堂は、創業150周年を記念し、稀観書展を開催いたします。当展では、日頃からご愛顧をいただき、多くの名著(原書)を所蔵される大学等教育・研究機関および愛書家の皆様のご協力のもと、明治以降に日本へ輸入された西洋の名著(原書)約100冊を一堂に会し展示いたします。創業以来、西洋の知識や文化を日本に紹介し、人と知との出会いつないできた「丸善」がお届けする、「西洋の名著との出会い」をお楽しみください。

会期: 2019年10月9日(水)~10月15日(火)
9:00~21:00(最終日は16:00閉場)
場所: 丸善・丸の内本店4階ギャラリー(入場無料)
主催: 丸善雄松堂 協力: 丸善ジュンク堂書店

お問い合わせ

丸善雄松堂株式会社「150周年記念連続講演会」事務局
mail: manabi11@maruzen.co.jp